

令和6年度 学校評価の妥当性について（学校運営協議会委員アンケート）

資料：令和6年度学校評価表(学年末)、学校評価アンケート(保護者)集計結果を参照し、次の観点で評価欄に4～1までの数値で記入をお願いします。

4:妥当である 3:やや妥当である 2:やや妥当ではない 1:妥当でない

領域	対象	中期目標	今年度の目標	平均	評価	
教育活動	学習指導	○主体的、対話的で深い学びと個別最適な学び、協働的な学びの充実	①ICTを活用し、生徒が互いに学び合う学習集団を形成する指導内容や指導方法の改善	①授業ごとのclassroomを適切に活用するとともに、生徒同士の協働的な学びを実施し、授業改善を図ることができたか。	2.89	B
			②適切な観点別評価の実践	②リフレクション(振り返り)を効果的に観点別評価に反映できたか。	3.00	B
			③多様な生徒の実態に応じた授業研修の充実(国数英は学び直しの工夫を含む)	③教科内にとどまらず、教科間、異校種、保護者、地域の方などに授業を見てもらい、授業研修に活かすことができたか。	3.00	B
	キャリア指導	○自己理解の深化と社会で活躍する(通用する)ための資質の育成	①深い自己理解に基づく進路目標の確立に向けた支援	①生徒に自己理解を深める働きかけを行い、進路目標の設定・見直しを支援できたか。	3.22	B
			②社会人としての資質を養うための進路情報・体験・知識の提供	②適切な進路情報等を提供し、生徒が学ぶことや働くことの意義を実感できたか。	3.22	B
			③探究活動等を中心とした進路実現への積極的な支援	③生徒が積極的に進路実現に向けて取り組めたか。	3.11	B
	生徒指導	○自己指導能力の獲得に向けた自己有用感の向上と道徳心・自律心、創造性の育成	①生徒の特性に応じた適切な支援とコーチング・スキルの向上	①生徒の自己肯定感を高め、自身の気付きによる向上心を育むことができたか。	3.11	B
			②自立する成年に向けた自己管理能力と規範意識を育む行動支援	②生徒の状況を的確に把握・共有し、自立する成年に向けての行動支援ができたか。	3.00	B
			③命の大切さや多様性を尊重する態度の育成と「いじめ見直しゼロ」を目指す組織的な対応	③命の大切さや多様性を尊重する指導を行い、いじめやトラブルを見逃すことなく、組織的に対応できたか。	3.33	A
			④特別活動による達成感の獲得や自己有用感の向上と、地域の活動への自主的な参加の推奨	④各行事、生徒会活動等の目的、資質・能力評価規準を生徒に提示し、振り返ることで達成感や自己有用感を持たせ、地域の活動への自主的な参加を推奨できたか。	3.11	B
	健康・安全指導	○心身の健康の保持増進と、自他の健康安全に貢献できる態度の育成	①生徒の健康管理意識の向上と、SCと連携した教育相談の実践	①自身による健康管理の大切さを生徒に伝え、SCの活用など安心して相談できる環境を提供できたか。	3.11	B
			②清掃活動や環境整備の取組による学校生活・学習環境の美化と地域の環境保全意識の高揚	②教室等の校舎、及び通学路等の美化に努める態度が育成されたか。	2.89	B
③校外の講師等を積極的に活用した薬物乱用防止やネットトラブル防止、交通安全等の指導			③ 外部講師を積極的に活用し、生徒が安全意識を高めることができたか。	3.22	B	
学校運営	組織運営	○スクールミッション、重点目標、育成を目指す資質能力を意識した教育実践	①「チーム学校」として課題の共有と解決に向けた協働	①質の高い報・連・相に努め、主体的に組織力向上に貢献できたか。	3.33	A
			②各教育活動の目的、資質・能力の評価規準の明確化	②各教育活動において評価規準に基づく評価を行い、改善につなげることができたか。	3.11	B
			③ミドルリーダーを中心とした組織的な業務の遂行	③部長主任等のミドルリーダーを中心に、組織的に業務を遂行できたか。	3.33	A
	信頼される学校づくり	○学校と地域が一帯となった教育活動の推進	①学校運営協議会をはじめとする地域の関係機関との連携を深め、魅力ある学校づくりの推進	①保護者や地域、小中学校等連携した教育活動を進めることができたか。	3.44	A
			②本校の取組の積極的な情報発信	②「すべての教職員が情報発信者である」との認識のもと、HP更新をはじめ様々な機会を用いた情報発信ができたか。	3.44	A
	教職員の資質向上	○教育公務員としての自覚と働き方改革の推進	①教育公務員としての服務規律の遵守	①服務規律を遵守する行動がとられたか。	3.89	A
②業務の効率化による在校時間の縮減と、心身の健康保持増進及びライフワークバランスの実現			②自己の勤務時間を意識するとともに、教育に対する情熱、やりがいを見失うことなく時間外勤務の縮減に取り組んだか。	3.33	A	
<p>・病気療養中の生徒への配信授業や各授業におけるタブレット使用等、ICTの活用について、自己評価で改善の記載が見られるが、適切に使用されていると感じる。</p> <p>・海外短期留学等、自らチャレンジするきっかけが増えていると感じる。学校運営協議会会議の場で成果発表が行われ内容がよくわかった。</p> <p>・受検できる検定について、声別市からの半額助成もあることから、広く周知してほしい。</p> <p>・授業を参観すると、少人数とはいえ、多様な生徒が存在しており指導していくのに大変な苦労が伺える。保護者や地域の人間が学校に訪れる機会を設けることで学校課題を共有し、地域で子どもを育てていかなければならない意識を高めるべきと感じた。</p> <p>・会議の時期が関係していると思うが、保護者アンケート結果に加え、生徒アンケート結果もあると評価しやすい。また、会議であった学校評価についての説明が事前にわかるとありがたい。</p> <p>・学校評価の妥当性ではなく、学校評価で良いのではないかと。</p>						

※評価平均は評価項目ごとの平均値を算出(小数点第3位四捨五入)。 評価は評価平均について、A 3.25以上 B 2.50～3.24 C 1.75～2.49 D 1.74以下